

平成18年度 第3回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成19年3月27日（火）午後7時00分から8時30分

■場所：宮代町郷土資料館 会議室兼資料取扱室

出席者：島村委員、長谷川委員、中村（豊）委員 鈴木委員

中村室長、青木主幹、河井主査、秋場主任、横内主任

会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 議事

議題

- ① 平成18年度事業報告について
- ② 指定文化財候補の検討について

会議概要

平成18年度の事業報告、並びに指定文化財候補について、意見を出し合い検討した。

会議録

開会

あいさつ（中村室長、島村委員長）

議事

島村委員長：それでは、開会いたします。

本日の議題は、平成18年度事業報告並びに、指定文化財候補の検討です。

まず、平成18年度事業報告について、事務局より説明願います。

事務局（河井主査・青木主幹）より平成18年度事業報告について、説明を行った。

島村委員長：事務局から説明がありましたが、なにか質問はございますか。

長谷川委員：埋蔵文化財発掘調査事業について、個人住宅建設にかかる山崎遺跡の発掘調査で、かなり縄文時代後期の遺物が出土したとの事ですが、調査範囲外に広がる可能性はありますか。

河井主査：今回の調査区の西側に隣接して道路がありますが、昭和62年に発掘調査を行っています。そこで、かなりの量の遺物が出土しています。そのエリア一带について斜地になっている関係でかなり遺物が出てくるものと思います。

また、今回の調査区の北側について、個人宅の駐車場を作る関係で20～30平米の調査を行いました。遺物は多くは出土しませんでした。基本的には、今回の調査範囲の北側にはあまり無く、南側に遺跡の広がりがあるかと思えます。今回の調査では、縄文時代後期の遺物は多量に出土していますが、遺構は土坑のみで、住居跡は検出されませんでした。これは、斜地の関係であると思われる

ます。

鈴木委員：講座体験学習の関係で、「郷土資料館に行こう」という行事がありますが、トータルで118名という事ですが、こういった項目に子どもたちは興味を持っているのか。もう一点は、中学生の社会体験チャレンジ事業についてですが、生徒が社会体験学習で体験して、その後に何かどういった内容が良かった等の感想が資料館にきているのかどうでしょうか。2点お願いします。

青木主幹：「郷土資料館に行こう」の関係ですが、ことに「絞り染め」「勾玉づくり」、「うちわづくり」が多くの参加者がありました。「絞り染め」を2回に分けて行い、1回目が16名、2回目が18名、「勾玉づくり」、「うちわづくり」が各16名「メンコづくり」が13名の参加がありました。

河井主査：中学生の社会体験チャレンジ事業ですが、主に埋蔵文化財の整理作業を行っており、午前と午後に分け埋蔵文化財の整理作業や旧加藤家住宅の清掃作業を行いました。また、3校ほぼ同時に行っています。

また、先ほど質問のありました、その後の関係ですが、お礼の手紙で興味を持った等の感想は寄せられています、何かアクションがあるとかはありません。

なお、私どもで把握している範囲では、チャレンジスリーデイズの時に来て興味をもって歴史関係の大学に進んだという方は1名います。

鈴木委員：受ける側も子どもたちに仕事があって受けるわけではないので掃除とか簡単なことなので、行ってきて楽しかったということではないのでしょうか。本当に好きな子どもは土器に触れたということでは楽しいのではないのでしょうか。

中村委員：社会体験チャレンジ事業について、中学生は個人の希望でくるのですか。学校推薦ですか。

河井主査：一応本人の希望ということですが、希望する場所が叶わなかった子どもたちも来ているようです。

島村委員長：宮代の場合、各中学校が同じような時期にあたってしまったのですか。

河井主査：かつては、ずれていましたが、本年度はほぼ一斉に行われました。

長谷川委員：総合学習の内容はどういったものですか。

横内主任：昔のことについて教えてくださいとか、宮代の歴史について教えてください、その他、昔の民家や道具類の件が多いです。また、子どもたちは見学はするのですが、パソコンを使って調べ始めるといった光景も見られます。

島村委員長：何年生ですか。

横内主任：3年生から6年生まで来ていますが、以前に比べると件数は減っています。

島村委員長：3年生くらいになると昔の道具について学習するので来るかと思いますが。

長谷川委員：最初来るときアバウトに聞いてきて、困ることがあるのではないかと思います。昔といってもどのくらいのことなのかとか。

横内主任：困ることがあります。よく聞くと道具の関係だったりします。

青木主幹:歴史について、昔っていつごろと逆に質問しながら時代を頭に入れ、自分の知りたいものはどの部分か認識し質問してもらうよう対応しています。

長谷川委員:アバウトなので具体的なことをいくつか挙げていくと、質問したいことが見えてくる。そういった点で苦労しているのではないかと思います。

横内主任:最近の傾向で、子どもたちにとっての昔は、お父さん、お母さん、もしくはおじいさん、おばあさんが自分と同じくらい時代のことで、学芸員の感覚での昔とはかなり違ってしまっていて、また、その時代の道具類も少なく、どうやって説明しようかと困ることもあります。

長谷川委員:近所のお父さん、お母さんの話を聞きながら、昔のことを資料館で聞いてみないかと、後になってお父さん、お母さんに聞いてみると自分たちが小さかったころ、親たちに聞いたことぐらいの昔のことですね。

島村委員長:学校との連携をもう少しできればいいのでは。来年度以降の課題になるかと思っています。

鈴木委員:町内の先生方の研修でも資料館を使うのですか。

河井主査:使います。

鈴木委員:先生をひきつけて、ここにどんなものがある、どんなところに使えるか、それをインプットして年間計画の中で使って頂くことが大切であると思います。

長谷川委員:地元でこういうものがあるということを知らない場合がある。何かしらの働きかけをし、連携が取れるともっと資料館の活用、来館してもらえるようになると思います。

島村委員長:この件についてよろしいですか。ほかにお気づきの点ありますか。

各委員:他に意見なし

島村委員長:次に、指定文化財候補の検討ということでよろしくお願いします。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局(青木主幹)より資料の説明を行った。

島村委員長:ただいまの説明で、まず多少庵句碑関係で質問はありますか。

青木主幹:この中で華塚というのが、具体的に性格がつかめておりませんが、多少庵関係の石碑ということで挙げさせていただいております。

島村委員長:華塚というと、花をあげたというか、その塚ということですか。

青木主幹:わかりませんが、裏に追悼文や辞世の句なども刻まれています。

島村委員長:前から何回か話が出ていますが、多少庵は宮代町の特徴ですので、これをどう扱っていくかということになるかと思いますが、何かご意見がありましたらお願いします。

島村委員長:絵馬関係ですが、傷みの激しいというのがありますが、昭和60年代に調査したときはもっと状態は良かったのですか。

青木主幹:写真で残っていますが、奉納者の名前など判読できました。「宮代町の絵馬」の

中に記録されております。今は、布が剥がれてしまっています。

島村委員長:他のものは大丈夫ですか。

青木主幹:大丈夫です。

中村委員:いずれ時間が経てば劣化していく、対応は。

青木主幹:なかなか難しいです。最近、神社も祭礼等を除いて拝殿も戸が閉められています。以前より保存状態はいいと思います。

河井主査:展示で使用するとき、伊勢参宮の絵馬が埃で見えなくなっていたものもありました。現在は資料館に保管させていただいています。

島村委員長:レプリカを作った絵馬は。

河井主査:レプリカを作った絵馬は資料館にあります。

青木主幹:町指定の絵馬3点は、資料館で保管させていただいています。

島村委員長:五社神社の絵馬の状態はどうですか。

青木主幹:それほど悪くはないと思います。

島村委員長:青蓮院の俳額はどうですか。

青木主幹:中にきちんと納められていますので、状態は良いと思います。

中村委員:俳額の材質はいろいろですね。

青木主幹:杉や桐などいろいろです。

島村委員長:緊急に保存ですと、先ほどの河井主査の言われた状態になっているものという  
と、どうでしょうか。

横内主任:五社神社の俳額については、総代さんが最近見えなくなってきたと気にはしては  
いましたが、見えない状態ではありません。

島村委員長:これは調査のとき記録はとってありますか。

横内主任:とってあります。

島村委員長:いずれ保存について考えていかなければならないと思います。

これについては、調査をして、記録として把握しておくということで、前回の  
話で多少庵関係の句碑と絵馬の詳細はこういうことであるということ、よろ  
しく願いいたします。

島村委員長:次に機関車についてですが、ご質問等ありましたらお願いします。

島村委員長:先ほど説明がありましたが、かなり部品も変わっているということですが。

青木主幹:これはやむをえないことで、時代的に部品等交換して受け継がれてきたという歴  
史的なものでもあるということです。

島村委員長:これは動きますか。

青木主幹:動きません。

中村委員:これは伊勢崎線を走っていましたか。

横内主任:伊勢崎線も走っていたと聞いています。

島村委員長:廃車になってすぐ初雁公園に展示されたのですか。

青木主幹:はい。

島村委員長:状態的にはどうですか。

青木主幹:平成6年に宮代町に移管されたときに全部修繕し、そのあと2回ほど修繕を行っています。

島村委員長:他のところでも、こういう形で保存していますか。

青木主幹:他のところでもこういった形で、何年かに1回塗装等行い保存している状態です。

中村委員:伊勢崎線を走っていた機関車はこれ以外ありましたか。

青木主幹:これについては、東武鉄道80年史等にも出ていますが、杉戸機関区に5,6種類はあったかと思います。

中村室長:ネルソンとかピーコックなどがありました。

島村委員長:杉戸機関区にも昭和40年代に置いてあったかと思います。

横内主任:東武博物館に入っているのも一部あるようです。

島村委員長:今の形で修繕しながら引き継いでいくのがいいかと思います。

島村委員長:次に、皆さんで分担した調査があったかと思いますが、須賀地区からお願いいたします。

中村委員:須賀島地区で、大正3年の建物で、その後、外装は変えていないが、中は生活様式の変化に伴い手を加えてある家が1軒。それと、もう1軒、明治初期から中期頃の家がありました。一部、屋根の瓦を乗せ変えてありますが、他はほとんど変わっていません。住まいではありませんが、須賀上地区に、蔵がありました。柱の間が通常3尺ですが、2尺6寸等まちまちであるという特徴を持っている。建築年代はわかりません。金剛寺地区にも養蚕をやっていた家がありました。

鈴木委員:駅周辺は大きな家がありますが、みんな新しく建て替えられており、昔からの家は見当たりませんでした。

島村委員長:宮東、川端地区を回りましたが、昔あった家もなくなってしまっています。これから、姫宮、東、中地区の調査行おうと思っておりますが、中地区に昭和2年に台風の時に倒れた杉の木をもったいないので使って建てたという家がありました。ほとんど改修されていないものです。近代和風建築としては戦前のものならば昭和に入ってもいいのではと思います。それと関連して、弥勒院の調査も行わせて頂こうかと思っております。また、中地区にも1軒あります。その他、何軒かあるかと思っております。今後、姫宮駅の線路の東側はないと思っておりますので、線路を渡った西側を見て行きたいと思っております。

長谷川委員:西叡原、東叡原ですが、雰囲気からしてあるような場所ですので、今後見て行きたいと思っております。私の担当区域ではありませんが、国納に家を解体したお宅があります。詳しくは分かりませんが、明治末から大正にかけて建てられたものであるようです。そういった情報がありましたのでお伝えします。また、

国納には蔵のある家もありますので、以前にも調査されたこともあるかもしれませんが、何かの機会に調査されたいと思います。

島村委員長:他の委員さんについては後日ということでもよろしくお願ひいたします。次に、これをどういう形にまとめていくかということになるかと思いますが、例えば、先ほどの多少庵のような形で整理できればいいですね。必要なのは、所在地と所有者、建築年月日、その他という項目かと思いますが、その他必要な項目は何かありますか。写真があれば写真をつけられればいいかと思いますが、それだけ把握しておければいいのでは。

中村委員:昔の造りであれば、柱がむき出しになっているので、柱で何間かは分りますが。

河井主査:分かる範囲でどうですか。

長谷川委員:後で整理することになると、最初に簡単なカードがあるといいのでは。

写真を貼る欄と、場所を示す簡単な何か統一したものがあるといいのではと思います。

河井主査:それでは、事務局で案を作って、次の会議で諮り、そこで検討していただくということではいかがでしょうか。

島村委員長:それまでに、委員さんには予備調査のような形で見ていただいて、次は個々の家に行って話を聞いて写真を撮ったら、ということではどうでしょうか。来年度の計画の話になってしまいましたが、今年度、こういった形で見てきていただいたので、住所があれば町内ならどこであるか分りますので、また、場合によっては裏側に見取り図を書ければということで、事務局でカードの案を作っていただいて、次回諮るということでよろしいですか。

各委員:了承

島村委員長:それまでに可能な限り見て予備調査をしていただいて地図におとす。そういった作業をしていただく。そんな形で、引き続きお願ひしたいと思います。

島村委員長:その他、この件につきましてはよろしいですか。

各委員:了承

島村委員長:その他、文化財関係でお気づきの点ありましたらよろしくお願ひいたします。他に検討する課題はありますか。その他、日本工業大学工業技術博物館所有の資料の国の登録文化財については、新井委員が欠席ですので、正式は5月頃ということですので、次回お話をいただきたいと思います。

青木主幹:私のほうから、簡単に紹介申し上げます。国・県からいただいた資料によりますと、全体で178点が今回の登録になります。明治期の旋盤ですとか、1891年製のイギリス製の蒸気機関車など、実際に動く事が可能な状態で保存されています。こうした点が非常に高く評価されています。技術教育にも寄与し、機械を作る機械として最も基本的なもの、工作機械の発達を追うことができる。ということで、まとめりとして残されており、歴史的、学術的価値が高い。建造部

は多くありますが、こうした歴史資料としての事例は全国的に 5 例目、埼玉県では初めての事例です。貴重なものですので、機会がありましたら、また見学していただければありがたいと思います。

島村委員長:他にはありますか。何も無いようですので本日の会議を閉じさせていただきます。